津山市城西（岡山県）

令和4年5月1日
津山市作成

（1）保存地区の概要

地区名　　津山市城西

種　別　　寺町・商家町

面　積　　約12．0ヘクタール

選定年月日　令和2年12月23日

特　徴　津山市城西伝統的建造物群保存地区は、津山城下町の西部に成立、発展した寺町及び商人町である。出雲往来を軸とした近世以来の地割りの姿を良く保持し、寺町は江戸時代の様相を伝える伽羅とともに、慶長期以降各時代、各宗派の寺院建築が良く残る。また、商家町は、往来沿いに近代の発展を示す伝統的な町屋が連続して残る。

（2）保存地区のあゆみ

平成21年度（2009）「津山市歴史的風致維持向上計画」 認定

平成25年度（2013） 本源寺「重要文化財」の指定

平成30年度（2018）「津山市歴史的風致維持向上計画（第2期）」認定

平成31年度（2019） 城西町並調査

令和2年度（2020） 城西伝統的建造物群保存地区保存活用計画　策定

令和2年度（2020） 『重要伝統的建造物群保存地区』選定（12月）

令和3年度（2021） 修理・修景事業　開始

津山市城西（岡山県）

令和4年5月1日
津山市作成

（3）保存地区の保存と整備

〇修理・修景件数

	修理	修景
令和3年度	3棟	1棟

修理前

修理後

津山市城西（岡山県）

（4）保存地区の活用とまちづくり

その1　伝統的建造物の活用とまちづくり

・従前の町家を活用しての出店例がある。

・出店により地域の賑わいを創出している。

・出店の内容によっては、観光モデルルートに紹介されている店舗もある。

文化材を活用した「まちの駅」

飲食店

伝統工芸品の展示・販売・体験

カフェギャラリー 兼 民泊施設

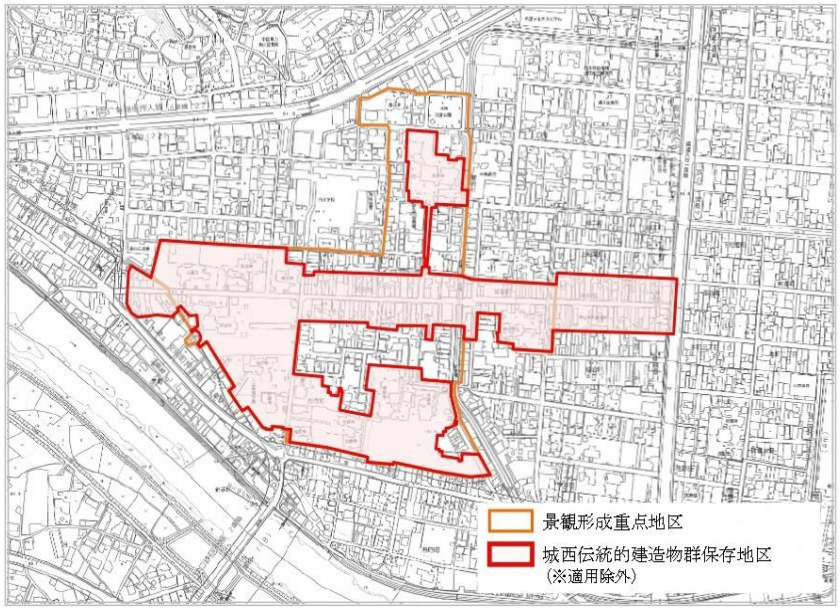
津山市城西（岡山県）

令和4年5月1日
津山市作成

（4）保存地区の活用のまちづくり

その2　周辺への波及効果

城西地区景観重点地区　区域図



市では景観法にもとづく津山市景観条例を定め、保存地区を含む周辺地区を「景観重点地区」に位置づけ、保存地区の周辺をふくめた景観整備を行っている。

（5）住民等の取り組み

●「城西まるごと博物館フェア」の開催

毎年10月に保存地区一体を歩行者天国にして開催される「城西まるごと博物館フェア」は、保存地区全体を博物館と考え、伝統的工芸品の実演・職人によるガラス細工や陶芸等の販売で町人文化を演出し、市民や来場者を楽しませている。

平成7年から実施しており、各種団体や地域住民が一体となって、取り組む恒例行事となっている。

伝統的建造物群の町並みを散策するなど、保存地区の周辺住民も多数参加し、保存地区の良さを再認識することで、地区の継承が図られている。

「城西まるごと博物館フェア」の様子